

☆☆



潤徳小HP
QRコード ← カラーで見られます！

山都町立潤徳小学校 学校だより (両面印刷)

狭霧 (さぎり) の朝

令和4年12月22日(木) 第49号

校長 池部 聖吾智 (みわとも)

☆☆

1日早く終業式を行いました！ ～朝から正門にサンタ？～

本日の夕方から降雪の心配があり最悪の場合、明日が休校となる可能性もあることを考えて、本日終業式を実施し、通知表等も配布しておくことにしました。山都町内のほとんどの小学校も同様の対応をしたようです。

某教育関係企業が小学生を対象に実施した意識調査によると「今年いちばんわくわくしたこと」の1位が修学旅行、2位が運動会、・・・という結果が出たそうです。本校では、この2学期に予定していた学校行事をすべて実施することができました。やはり「行事って大事だな」ということがこの調査結果からもわかります。本日の校長講話では、2学期の子どもたちの頑張りについて振り返りながら、新年に期待することについて話をしたところです。

全ての子どもたちがこの2学期に大きく成長しました。保護者・地域の皆様のご理解とご支援のお陰だと感謝しています。3学期も元気に成長してくれることを願っています。皆様、感染症対策に留意されながら、良いお年をお迎えください。2学期始業式は1月10日(火)です。元気に登校してきてください！

「世のため・人のために」システムを
“キャンペーン”で終わらせない

「世のため・人のために」コーナーに二月29日から新しいカードが入っていない日々が続いています。ですが、昨日久しぶりに「一枚」入っていました。先日六年生の「自分史」作成の授業で、「2学期(の行事)は他に何かあった？」という話になりました。「夜のため・人のために」という発言が出てきました。正確には一学期から始めているのですが、無意識に頭の中に入っていることを感じ、うれしい気持ちになりました。私は、そこで「(世のため・人のために)は一生だ」と話しました。冬休みに、そしてこれからは行動してほしいと願っています。

極寒の給食室で、温かく・おいしい給食が作られています！

給食室の寒さが厳しい中で、毎日調理していただいている村上先生、志賀先生へのメッセージを最近HPで頻繁に伝えています。16日の給食日誌には、「12月でこの寒さ、この先思いやられます。手が冷たすぎて1つ1つの作業に手間がかかります」とありました。別の日には「5・6年生の反応で『めっちゃおいしかったです』と聞き、煮込んだ甲斐がありました。うれしい言葉です」とありました。これからは寒さが厳しい日が続きますが、お二人に感謝の気持ちを伝え、おいしくいただくことで返していきたいと思います！

1月行事予定

日	曜	給食	行 事	日	曜	給食	行 事
1	日		元日	16	月	○	
2	月			17	火	○	身体測定(5・6年) クラブ活動 ⑤小児生活習慣病予防教室
3	火			18	水	○	フッ素うがい 矢部中学校入学説明会 職員会議
4	水			19	木	○	
5	木			20	金	○	身体測定(1・2・3年) クラブ活動
6	金			21	土		
7	土			22	日		
8	日			23	月	○	給食週間(～27日)
9	月		成人の日	24	火	○	
10	火	○	始業式・地区児童会	25	水	○	フッ素うがい 給食集会 校内研修
11	水	○	フッ素うがい 委員会 校内研修	26	木	○	郡教科等研究会
12	木	○		27	金	○	
13	金	○		28	土		
14	土			29	日		
15	日			30	月	○	
				31	火	○	

潤徳抄

今年タイムパフォーマンス(タイパ)という言葉がトレンドになった。倍速視聴や興味のない部分を「飛ばし観」しながら時間を有効活用するといった意味である▼私もドラマ等を録画しておいて夕食時にCMを飛ばしながら観るタイパ人間である。しかし、18日放送の「ミューグリランプリ」はリアルタイム(リアタイ)で視聴した。個人的には、昨年惜しくも2位となったオズワルドを応援していた。昨年度グランプリ後の伊藤氏のコメント「ミューも妹も・・・」は名言だった▼今回は準決勝で敗退し、敗者復活戦に回ったが、何とか勝ち抜き、決勝に進んだ。決勝でも敗者復活戦と同じネタで勝負にいったが、惜しくも敗退。間違いなく今年はいレベルの闘いだった▼ファイナルラウンドまで入れたら、敗者復活組は6〜7時間の間に「3本」のネタを披露しなければならぬ。そういう中で今回のオズワルドの作戦だったと分析しているが現実には甘くなかった▼「一番おもしろい漫才師になる」「人生を変える」ことを目標に出てきている挑戦者たち。本番では多くの出場者が、吐きたくなくなるほどの緊張感に襲われるらしい。また採点する審査員も大変で、毎年必ず採点についてネット上で叩かれる▼そういう中で闘っている漫才師たちも、批判覚悟で採点している審査員たちも見ていてカッコイイ! 「ミューグランプリ」に今年もまた元気をもらった! 今年「視聴者審査」にも参加。そこもまた魅力だ。